

平成29年度 施策評価シート（平成28年度実績評価）

政策 04 快適に暮らせるまち

施策 01 調和のとれた市域の形成

主管課： 都市計画課

関係課： 企画課、生活環境課、交通防災課、建設課

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか） 市域	意図（どのような状態にしたいのか） 秩序ある市域が形成され、調和のとれた発展が続くまちをつくる。
------------------------	---

2 施策の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

調和のとれた土地利用がされていると思う市民の割合						(%)	都市計画課
基準値 (H26)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値 (H33)		
61.50	58.50	60.30	60.80	61.30	62.00		
向上指針	上がると良い	(状況) 前年度より1.8ポイント増加しているものの、基準値からは1.2ポイント減少しています。ここ4年間の成果指標は、6割前後で推移しております。 (原因) 一つの要因として、本市においては、商業地、住宅地、農地は、区域区分や用途地域により区分されており、ほとんどの市街地は、土地区画整理事業等で整備されているため、成果が上げ下げしながらも安定していると考えられます。					
対前年度	横ばい						
目標達成度	低						
次年度課題	課題としない						

基準値 (H26)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値 (H33)	
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
向上指針						
対前年度						
目標達成度						
次年度課題						

基準値 (H26)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値 (H33)	
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
向上指針						
対前年度						
目標達成度						
次年度課題						

3 施策に係るコスト（単位：千円）

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
	決算	決算	決算	予算	見込
事業費合計	2,336	5,727	324,746	22,362	29,466
人件費	0	0	39,741	0	0
トータルコスト	2,336	5,727	364,487	22,362	29,466

4 基本事業の状況

基本事業名称	成果指標の動向				事業費				
					H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
01 計画的な土地利用	向上	低下			1,552	1,318	221,947	15,057	11,487
02 適切な規制と誘導	横ば				181	3,787	177	174	174
03 空き家対策の推進	向上	向上			0	0	58	169	166
99 施策の総合推進					603	622	102,564	6,962	17,639

5 施策全体の取組状況と課題

当該年度の全庁決定の方向性（前年度の全庁政策会議での決定事項）

<p>守谷駅周辺における土地利用の推進を図るとともに、守谷駅東口の市有地について、民間活力による事業展開を進めていきます。</p> <p>また、平成28年度に策定する空家対策計画に基づき、空家の活用や特定空家への対応強化といった対策を推進していきます。</p>	成果方向性	向上
	コスト方向性	増加

前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

<p>松並土地区画整理事業が完了し、着実に土地利用は図られていますが、守谷駅東口市有地の民間活力を利用した事業の展開や、みずき野地内商業施設跡地利活用などさらなる土地利用の推進を図っていきます。</p> <p>また、空家等対策計画に基づき、空家の利活用や特定空家への対応を強化していきます。</p>	推進状況	一部停滞あり
	次年度への課題	課題あり
	成果方向性	向上
	コスト方向性	増加

次年度の方向性（当該年度の全庁政策会議での決定事項）

<p>持続可能な集約型都市を目指し、立地適正化計画を策定します。</p> <p>守谷駅東口市有地の民間活力による事業展開やみずき野地内商業施設跡地の利活用など、更なる土地利用の推進を図っていきます。</p> <p>空家等対策計画に基づき、空家の利活用や特定空家への対応を強化していきます。</p>	成果方向性	向上
	コスト方向性	増加